

第一貨物、トナミHD、久留米運送が合併会社を設立

各社の関東・関西間の幹線運行の一部を担うことに

第一貨物（本社・山形県山形市、武藤幸規社長）、トナミホールディングス（本社・富山県高岡市、綿貫勝介社長）、久留米運送（本社・福岡県久留米市、二又茂明社長）の3社は16日、「一般貨物自動車運送事業」を運営する合併会社を設立することで基本合意したと発表した。新会社は、各社の関東・関西間の幹線運行の一部を担うことになる。

第一貨物、久留米運送とトナミHDの中核事業会社のトナミ運輸の3社は、各社のネットワ

ークを補完し合うなど従来から業務提携してきた。顧客ニーズの多様化により、輸送能力の安定的確保や往路・復路の積載効率の向上がますます重要な経営課題になっていることから、協力関係をさらに強化することにした。

新会社の社名は「ジャパン・トランス・ライン」で、社長には第一貨物の坂田昭雄常務が就任する予定。2日に準備会社を設立した。当局からの許可が順調に得られれば、8月中旬には営業を開始する。資本金は6000万円で、出資比率は第一貨物40%、トナミHD40%、久留米運送20%となる。本社は東京都内に置かれる予定。